

あなたはどのように意思決定を行いますか？必要最低限の情報しか得られない状況において、感情や直感で、衝動的に決断をくだす傾向にあるでしょうか。または逆に、状況を分析しすぎて「分析麻痺」に陥ってしまっているでしょうか？もしくは、その二つの中間でしょうか？（訳者追記※分析麻痺:分析によって発生するコスト(労)が、得られるメリットを超えた時に使われる言葉）

決断の種類によっては、例えば、「横断歩道の標識に歩けと書いてある。だから渡ろうか？」などと考えたり、準備する必要がない、単純な決断があります。しかし、仕事でも、仕事以外の活動においても、私たちが一日のうちにくだす決断は、より複雑なものである場合が多くみられます。事業を拡大するか、別の方向に進めるか。現在の仕事に不満はなくとも、新しいチャレンジのある仕事を引き受けるのかどうか。顧客を惹きつけるため、どのような提案をすべきか。古い車を修理する価値がない場合、どんな車を買うか。など、他にもいくつも存在します。

では、人生やキャリア、ビジネスに大きな変化をもたらす可能性のある重要な決断を行う際には、どのように行えばよいでしょうか？リーダーシップコンサルタントのティム・カイトは、「平均的な決断と偉大な決断の違いは、情報の質です。決断をくだす前に、下調べをしましょう。“計測は二度、切るの是一次”なのですから」と述べています。

最後のフレーズ、“計測は二度、切るの是一次”とは、一般的な大工の原則に言及しています。つまり、板を切る準備を行う際には、ノコギリの歯を当てる前にまず測定をし、その後再びダブルチェックを行おうということです。板を切りすぎてしまうよりも、自分の計測と計算に確信を持つ方がはるかに良いのです。

同様に、重要な決断をくだす前には、より多くの情報を集めた方が良いです。そのためにはどうすればよいのでしょうか。聖書には、後悔するような早まった決断をしないために、有用な原則が記されています。

情報収集を怠らないことが最良の結果を生む。魅力的な選択肢があると、急いで決断してしまいがちになります。しかし、“跳ぶ前に見よ”という格言は、ほとんどの場合において正しい指針となりえます。時間をかけてできるだけ多くの情報を集めることで、成功の可能性が高まります。「無精者の手は人を貧乏にし、勤勉な者の手は人を富ます。」(箴言 10:4)。「勤勉な人の計画は利益をもたらす、すべてあわてる者は欠損を招くだけだ。」(箴言 21:5)。

良質な情報の重要な側面は、適切なアドバイス。複雑な決断をくだす際、必要な情報がすべて揃っていない可能性があります。信頼できる人に相談しアドバイスをもらうことで、自信を持って十分な情報を得ることができ、成功につながります。「指導がないことによって民は倒れ、多くの助言者によって救いを得る。」(箴言 11:14)、「愚か者は自分の道を正しいと思う。しかし知恵のある者は忠告を聞き入れる。」(箴言 12:15)、「密議をこらさなければ、計画は破れ、多くの助言者によって、成功する。」(箴言 15:22)。

チームワークは視野を広げる。一緒に仕事を行うことで、お互いの強みや様々な経験、異なる視点を活かして、困難な問題をできるだけ多くの角度から評価することができます。「鉄は鉄によってとがれ、人はその友によってとがれる。」(箴言 27:17)。「ふたりはひとりよりもまさっている。ふたりが労苦すれば、良い報いがあるからだ。」(伝道者の書 4:9)

【適用】

1.あなたの普段の意思決定スタイルはどのようなものでしょうか。即断即決であったり、時には衝動的な決断をする傾向があるのか。または、非常に慎重で徹底した分析を行うのか。もしくは、その中間か。ご自身の例を述べてください。

3.あなたの経験から、重要な決定をくだす際に、他の人に相談してアドバイスをもらうことにはどのようなメリットがあったでしょうか？または定期的に誰かに相談することに、何か落とし穴やデメリットがありますか？ご自身の答えを説明ください。

2.大工の例えである、「計測は二度、切るの是一次」という言葉をご存知ですか？その考えを、ご自身の仕事に当てはめて考えてみてください。

4.自信を持って熟考した上で決断を下すために十分な情報を集めようとする際、あなたは他にどのような情報源が役に立つと思いますか？

【参考聖書箇所】箴言 12:1、13:14、14:8、12、17:24、18:15、19:20、27、22:3、24:5-6、27:9、12